

R 5 年度自己評価

真学園

評価項目	No.	内 容	評価平均	改 善 案
保育の計画性	1	園の教育理念や教育方針を理解している。	4.8	園の教育理念や教育方針を理解し、日々の保育を行う。
	2	指導計画は幼児の興味や関心、これまでの生活の様子、予想されるこれからの生活などを考慮して作成している。	4.4	他職員と相談する時間を設けるなどして様々な視点で考察し、子どもの姿を考慮して作成するようにする。
	3	幼児の発達や生活を見通して環境構成をしている。	4.6	個々の発達を理解し、興味や関心が広がるような環境構成を心がけていく。
	4	自分の保育と計画の評価・反省について次の保育と計画に生かせるように行なっている。	4.3	保育について振り返り、他の職員と話し合いながら計画したり改善点を見つけたりしていく。
幼児への対応	5	園児が自らの感覚や体験を通して、自然の恵みとしての食材や調理する人への感謝の気持ちが育つように、園児と調理員との関わりや食に対する環境に配慮している。	4.0	散歩に出た際に野菜の育つ様子を伝えたり、給食の食材を知らせたりしながら食に対して興味や関心、感謝の気持ちが育つように努めていく。
	6	万一事故やけがが発生した場合は、適切な手当てを行い、園長に報告し、保護者に連絡をとり、医師にみてもらうなど適切な処置を行っている。	5.0	適切な処置や対応する。
	7	園児の理解のために保護者と話し合うことがある。	4.8	保護者との話す機会を増やし、信頼関係を築けるように努める。
	8	クラスに関係なく、その場にいた教師が適切な言葉かけや対応をしている。	4.6	園全体で子どもを預かっていることを忘れず、年齢やケースに応じて対応する。
資質・能力・適性	9	保護者に対し、園児のことや自分の保育のことを分かりやすく話すことができ、保護者との信頼関係をつくることに努めている。	4.7	日頃から笑顔で挨拶を交わすようにし、子どもの様子なども伝えるように心がける。また、自身の保育については常に反省し、改善に努める。
	10	自らの健康にも配慮し、爪が伸びていないかどうか等、保育する上での安全性にも気をつけている。	5.0	今後も維持できるように努めていく。
	11	教職員全員でひとつのチームであることを意識している。	4.9	必要な情報を共有し、報告、連絡、相談は遅滞なし行う。
保護者への対応	12	自分の考えをきちんと話し、保護者の話に心を開いてよく聞く。	4.6	自分の考えは丁寧に保護者に伝え、保護者の話は親身になりしっかりと聞くようにする。
	13	個々の子どもの情報は口外していない。	5.0	守秘義務は必ず守るようにする。
	14	正しい日本語、ていねいな言葉と敬語を用いて語りかけ、相手の話も落ち着いてしっかりと聞いている。	4.6	保護者の言葉に耳を傾け、共感しながらも自分の考えもしっかりと伝えられるように努めていく。
社会との関わり	15	地域の自然や主な施設の場所、交通機関、主な行事等について、理解している。	3.9	地域の広報誌、情報誌、新聞などを見て、様々な情報を得るように努める。
	16	卒園した子どもの情報を得るように努めている。	3.9	学校だよりや新聞など見るようにする。
研修と研究	17	研修会や研究会には自己課題をもって進んで参加している。	4.3	自分なりの課題や疑問を持って参加するようにする。情報は持ち帰り報告し、検討する。
	18	保育の専門知識や技能の他に趣味や読書、ボランティア活動等にも関心がある。	3.7	まわりのことに目を向けて、やってみたり、読んでみたりする。
	19	園の遊具や教材についてその特徴や基本的な使い方を知っている。	4.7	分からないことは調べたり、聞いたりして正しい情報を知り、安全に使用できるように努めていく。
	20	園地・園庭の樹木や草花の名前、季節による変化などを理解し、保育に生かしている。	4.3	興味が持てるように働きかけたり、子どもの感受性を大切にしたりしていく。

今年度の職員の自己評価の結果を公表し、保護者の代表として父母会役員の方々から主に以下の意見や感想をいただきました。貴重なご意見・ご要望を頂き、ありがとうございました。今後の運営や教育・保育に活かしていきたいと思えます。

《保護者の方々からのご意見》

○保育の計画性（評価項目1～4）

- ・ 保育指導計画については評価しています。しかし、計画の透明性（保護者との共有）、園全体での共有は対応必要と考えます。
- ・ ドリルの進み具合を教えてくれることがあり、「〇〇君は口が書けた」「〇〇ちゃんは△の練習をしている」と個々のペースで進めてくれていて感心しています。
- ・ たくさん子どもがいる中、発達に合わせて配慮していただき先生方には感謝しております。

○保育の在り方・幼児への対応（5～8）

- ・ 教えたことのない野菜の名前を知っていることがある。色々と教わりながら食べているのだなーと感謝しています。
- ・ 食育について、昨今過程で食育することが難しくなっています。以上児では圃場を活用しての実践がありますが、未満児においても畑等での実施必要と考えます。
- ・ 例えば、年長さんがプランターなど手軽に育てられる野菜を植え、その成長をみんなで見守ることで興味・感心が増え、収穫した際には調理の先生のところへ持っていき「給食に入れてください」と伝え、1つ2つの野菜でも給食に入っていると実感することによって苦手な野菜でも自分たちでお世話した野菜だから少し頑張って食べてみようという気持ちになるかも知れないし、食育につながると思えます。
- ・ 絵本や紙芝居、何かを料理して作る等、幼児期の食の大切さが知れたり興味につながるような楽しく学べる食育があると嬉しい。
- ・ どんなに小さな傷でも必ず報告してもらえます。いつもありがとうございます。
- ・ いつも状況に応じた対応をしていただき助かっています。
- ・ ケガが絶えない幼児時期にはもっと気を付けて保育してほしい。
- ・ 子どものことにしっかりと向き合ってくれ、対応してくださり感謝しています。
- ・ 定期的に面談の機会を設けてくださりありがたいです。面談は10分と短いので15分くらいあるとさらにありがたいです。
- ・ 保護者と話す機会をもっと持ったほうが良いと思う。
- ・ 以上児になると先生方と話す機会が減っていくので、もう少し話せたらよかったなと思いました。
- ・ 帰り時間に、使っていたおもちゃを片付けず帰ろうとすると、担任ではない先生でもしっかり声をかけてもらえます。
- ・ 年少～年長までクラスが一緒になると、先生方の目が行き届かない時があるようでいやな思いをすることが多かったです。
- ・ 朝、玄関にいる先生から生徒への声掛けを能動的にお願いしたい。例) 名前を呼んでの挨拶等

○教師としての資質・能力・適正（9～11）

- ・ 子どものことにしっかりと向き合ってくれ、対応してくださり感謝しています。
- ・ みなさんお忙しいのに、会うと必ず挨拶をしてくれます。
- ・ やさしい笑顔で挨拶してくださり嬉しく思います。個人面談でも子どものことを細かく教えていただき、見ていただいている安心感があります。

- ・園の教育理念などは知っているが、担任の先生自身の保育方針などはあまりきく機会がない気がする。
- ・たくさんの先生が声を掛けてくださったり、励ましや、一緒に喜んでくれることが、子どものやる気へとつながっていると思います。

○保護者への対応（12～14）

- ・その日にあったトラブルだけではなく、嬉しい話、面白い話なども教えていただける時があり、とても嬉しく思っています。
- ・面談の際には、あらかじめ保護者から知りたいことや気になることもヒアリングしておくことさらに良い関係が築けると思います。
- ・親身に聞いていただけるので、不安なこと、心配なことはこちらも相談でき、ありがたく思います。
- ・園での様子をこちらが聞かなくても、気になることがあれば話をしてもらえるので安心できます。
- ・ご丁寧に対応してくださり、ありがとうございます。
- ・たまに園児のことを呼び捨てにしている所に出くわす事があります（先生が）。親しみがあってよいことなのかどうかちょっとよくわからないのですが、皆さんそうなのかなと感じてしまいました。

○地域の自然社会との関わり（15、16）

- ・毎回低いポイントです。この状況が続けるのであれば、目標をひとつレベル下げて達成してからのステップアップが必要では。
- ・ネットメディアの活用もご検討ください。（ケンオードットコム、地域系 SNS など）
- ・コロナ以降、イベントが縮小しつつありますが、自然にふれる、ふれあう、見て、触って、感じる等、幼児期にたくさん経験できたら良いです。
- ・卒園した兄弟にも先生方が話かけてくれて大変喜んでおります。
- ・卒園した子どもの情報を得ることも大切だと思いますが、先生方も日頃お忙しいと思いますので、現在登園している園児のために時間を費やしても良いと思います。

○研修と研究（17～20）

- ・（No. 18）毎回低いポイントです。この状況が続けるのであれば、目標をひとつレベル下げて達成してからのステップアップが必要では。
- ・園児たちが地域のボランティア活動などに参加する機会があっても良いかもしれません。
- ・異なる世代の交流があるとより良いと思う。例）お年寄りとスポーツや工作、職業講話（※地元版キッズニアのような体験型のもの）
- ・コロナ以降、イベントが縮小しつつありますが、自然にふれる、ふれあう、見て、触って、感じる等、幼児期にたくさん経験できたら良いです。

○その他

- ・先生方には日頃より園児、そして保護者に対しても真摯に向き合っていただき、感謝いたします。コロナが5類になり、昨年よりは様々な物事が緩和されてはきましたが、今なおコロナ含めその他の感染症もまだまだ猛威を振るっています。その都度先生方も様々な対応を求められ、大変な思いをしていることと思います。そんな中で、本評価書の内容を拝見しますと、もっと点数を上げて良いのでは？とってしまいます。それだけ先生方自身に向上心がある証拠ですね。これからも園児の事をよろしくお願い致します、又、より良い園運営ができるように頑張ってください。